

第2回

「皇室の弥栄を祈る」 討論会

(パネルディスカッション)

輝かしい令和の御代を迎え、10月22日には「即位礼正殿の儀」が古式ゆかしく厳かに行われ、今上陛下が即位を内外に宣明されました。改めて日本国民であることを喜び、我が国が皇室とともに悠久の歴史を紡いできたことを誇りに感ぜざるを得ません。

かしこくも 皇室のご努力により、国民の多くはこのすばらしい国柄への理解が徐々に高まりつつありますが、ややもすれば個人主義、道徳の衰退など、皇室あつての国家観は乏しいまま時代に流されようとしています。

かかる時期に、永続性のある皇室のあり方や、これを支える方策など、慎んで斯界の賢人に討論していただくことになりました。

討論は ①天皇の歴史的役割、②国際社会での日本と皇室、③優れた君主制を恒久に伝えるには、④皇位継承を支える国民の叡智、⑤憲法・典範の条項と課題など、時間のゆるすかぎり多岐にわたります。

是非、各分野各会での活躍の皆様、殊に青年層の皆様にご聴講賜りたいと存じます。お誘いあわせの上ご来場くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：令和元年12月22日(日) 午後1時30分～5時まで(受付12時半より)

場所：国民會館 12F 武藤記念ホール [大阪市中央区大手前2-1-2(住友生命ビル12階)]
TEL 06-6941-2433

講師：● 高森明勅先生

テーマ「皇位の安定的な継承のために」

● 新田 均先生

テーマ「皇位の父系継承の意義について」

● 野崎眞夫

テーマ「今日の帝室論」

参加費：1,000円/大人 500円/学生

パネリスト：上記お3方に下記の方を加えて5名で実施
村上政俊先生 廣瀬重見先生



プロフィール

高森明勅先生



昭和32年岡山県生れ。國學院大學文学部博士課程修了。神道学者、歴史家(古代史)、皇室研究者。元拓殖大学日本文化研究所客員教授。

新田 均先生



昭和33年長野県生れ。早稲田大学政治学研究科博士課程、國學院大學で神道学博士。神道学者、歴史学(近現代史)。皇學館大学現代日本社会学部教授。

村上政俊先生



昭和58年大阪市生れ。東京大学法学部卒。外務省(北京・ロンドン)、衆議院議員を経て、皇學館大学講師。『正論』・『新潮45』等に皇室関係の論文多数。

廣瀬重見先生



昭和22年岐阜県生れ。皇學館大学(文学部国史)卒。福岡大付属大濠高校教諭・愛知県で県立一宮北・江南・一宮高校教諭を勤めた。大川周明『列聖伝』翻刻など。

司会 野崎眞夫



昭和22年東京都生れ。皇學館大学(文学部国史学科)卒。ビジネスマンを経て、論語塾・日本史塾主宰。小学校非常勤講師。

【主催および連絡先】

野崎眞夫 大阪府堺市西区鳳東町7丁目770-1-101
TEL/FAX 072-272-4010 Iphone 090-9879-3135

【協賛】

公益社団法人 国民會館